

別紙 2 - 2

1 事業計画書 (ICT導入計画書)

事業者名			
事業所名	デイサービスセンター西目 【事業所番号：067070077】	利用者数	30
介護サービスの種類	通所介護	職員数 (常勤換算)	25 (6.1)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ファーストケア・・・12月15日以降導入予定 iPad Wi-Fi モデル・・・2台 R4年1月15日以降導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 R 年 月～ R 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在は紙媒体が主な為、保管場所の確保や作業時間が掛かる事、利用者の情報を個人のファイルから探す事による時間効率の悪さが問題点としてあった。 介護ソフトの導入により、紙の使用を抑える事による経費削減、パソコンの操作が苦手な職員でも扱いやすく簡単なタブレットの導入により、作業効率の向上にも期待できる。		
導入により達成すべき目標	○導入後 (翌年) 1年目 介護ソフトの操作に慣れ、作業効率の向上 ○2年目 職員のメンタルの安定、介護員の記録レベル格差の解消 ○3年目 介護サービスの質の向上		
導入により期待される効果等	○導入後 (翌年) 1年目 コピー用紙の消費量削減、記録時間の短縮 ○2年目 時間のゆとりができる事による職員の心の余裕、情報共有の向上 ○3年目 サービス提供内容の充実		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	記録に要する時間を記録し、導入前と導入後で比較 コピー用紙の月の消費量を比較 (8月のコピー量)5,430枚		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有 (予定を含む) の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	同一運営の居宅支援事業所、訪問介護事業所へ該当利用者の状態やサービス利用状況を共有。 連携方法についてはソフト内の送受信で一括して送られる。		

別紙 2 - 2

1 事業計画書 (ICT導入計画書)

事業者名	株式会社むつみ		
事業所名	あかり 【事業所番号：0670700707】	利用者数	25
介護サービスの種類	通所介護	職員数 (常勤換算)	18 (4.3)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ファーストケア・・・12月15日以降導入予定 iPad Wi-Fi モデル・・・2台 R4年1月15日以降導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 R 年 月 ~ R 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在は紙媒体が主な為、保管場所の確保や作業時間が掛かる事、利用者の情報を個人のファイルから探す事による時間効率の悪さが問題点としてあった。 介護ソフトの導入により、紙の使用を抑える事による経費削減、パソコンの操作が苦手な職員でも扱いやすく簡単なタブレットの導入により、作業効率の向上にも期待できる。		
導入により達成すべき目標	○導入後 (翌年) 1年目 介護ソフトの操作に慣れ、作業効率の向上 ○2年目 職員のメンタルの安定、介護員の記録レベル格差の解消 ○3年目 介護サービスの質の向上		
導入により期待される効果等	○導入後 (翌年) 1年目 コピー用紙の消費量削減、記録時間の短縮 ○2年目 時間のゆとりができる事による職員の心の余裕、情報共有の向上 ○3年目 サービス提供内容の充実		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	記録に要する時間を記録し、導入前と導入後で比較 コピー用紙の月の消費量を比較 (8月のコピー量)2,667枚		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有 (予定を含む) の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	一般社団法人鶴岡地区医師会		
事業所名	ケアプランセンターふきのとう 【事業所番号：0670700913】	利用者数	220人
介護サービスの種類	指定居宅介護支援事業所	職員数 (常勤換算)	6.7人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：ワイズマン すぐろくケアマネ（ソフトウェア）一式 台数：2台 製品名：CanonTR153 モバイルプリンター（ポータブルキット含む） 台数：1台 令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	業務の一部に、アセスメント・ケアプラン作成、モニタリング記録、給付管理、支援経過記録がある。訪問後に事業所へ戻りシステムへの入力作業を行っているが、業務負担増と時間外業務に繋がっている。タブレット、記録システム（既存のシステムと連携しているものの他、音声入力システム導入）、モバイルプリンターを活用する事で訪問先での記録の入力と印刷が可能となり、業務の効率化と負担軽減を図ることができる。ICT活用から法定書類等の記録業務の時間を短縮し、業務の効率化とサービスの質の向上を図る事を職員間で共有している。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 タブレット操作方法、システム活用方法を習得する。 ○2年目 事業所内の介護支援専門員全員がタブレットとシステムを活用する事ができる。 ○3年目 PDCA サイクルに沿ったシステム運用が行える。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 記録業務の時間が短縮されると共に再訪問を削減する。 ○2年目 記録業務の更なる改善が図られ、ケアマネジメンツの質の向上に繋げる。 ○3年目 事務処理、ケアマネジメンツ業務の効率化が図られ、時間外業務が削減される。また、サービス向上と安定した事業所運営が図られる。		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	従事者に対してヒアリングやアンケートを実施。利用者へ満足度アンケートを実施。労務管理の時間の記録と評価を行う。		

LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
有(予定を含む)の場合は、 具体的なデータ連携の内 容、連携先、連携方法等	

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 友愛会		
事業所名	訪問介護サービスセンター南陽の里 【事業所番号：0671900405】	利用者数	18人
介護サービスの種類	訪問介護、総合事業（介護保険）	職員数 (常勤換算)	7.5
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	令和3年12月～1月導入予定（PCの納期による） ・介護ソフト（NDソフトほのぼのNEXTの一式）×新規2台分 ・ノートPC ×3台（保守費用の1年分） ・セキュリティソフト ×3 ・PC設定費用 ×3台 ・デスクトップ2台よりノートPC2台（新規1既存1）への（NDソフトほのぼのNEXT一式）ソフト移設費用 ・モバイルプリンター ×1台 ・Wifiルーター ×1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<p>（意義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護の現場で使えるICTを導入し、業務効率化を図り職員の負担を軽減し働きやすい職場づくりを推進することで介護人材の定着を図る。 <p>（目的）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックオフィス業務時間を削減することで本来の業務である「利用者に対して使う時間」を増やす。 ・2市3町の活動エリアのため、事務所外でほぼ全ての業務が可能となる環境を整備する。 ・職員4名がそれぞれ請求までの処理が同時並行で行えるようにする。 ・残業時間を削減する。 <p>（現状の問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先から戻り残業して事務作業を行っていた。 ・職員4名に対し業務ソフトが入っているPCが2台しかなく作業時間の待ち時間が頻発した。 ・手書きのスケジュール管理で頻繁に変更があり非効率的で時間がかかっていた。 ・毎月の実績集計に時間がかかっていた。 <p>（運用方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド型業務ソフト（ほのぼのNEXT）が使えるノートパソコンを訪問介護員4名が事務所外でインターネットに接続し使えるようにする。 <p>（職員との導入意義の共有）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員がスケジュール管理を共有し、事務所外でリアルタイムに 		

	<p>予定変更や実績入力が行えるようになり請求業務まで一貫して効率化が図れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が ICT を使いこなし自ら業務改善を進めていくことを意識できる。
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル機器・ソフトの操作習熟 ○2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・60代のベテラン職員、登録ヘルパーも積極的に取り組む ○3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間のコミュニケーション、会議をビデオ会議で行う
導入により期待される効果等	<p>補助金で機器導入を行うことでメインの業務ソフトを事務所に戻らなくても使えるようになるため請求処理からスケジュール管理まで一貫して訪問の空き時間を利用することで大幅な効率化が達成できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間10時間削減 利用者数5人増 ○2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間5時間削減 利用者数8人増 ○3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・残業時間時間 利用者数10人増
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> ・請求実績等に係る業務量の削減 ・ガソリン等の光熱費の経費削減 ・支援記録時間の短縮と効率化、利用者満足度の向上 ・職員に対しての職場アンケート ・サービス提供時間の増加
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	法人内、本部やくろさわ、みはらしの丘とデータ共有と連携（業務ソフト内）

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 友愛会		
事業所名	居宅介護支援事業所くろさわ 【事業所番号：0670102037】	利用者数	106.5 件
介護サービスの種類	居宅介護支援	職員数 (常勤換算)	3
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	令和3年12月～1月導入予定（PCの納期による） ・ノートPC ×3台 ・保守費用の1年分 ×3台分 ・デスクトップ3台よりノートPC3台への（NDソフトほのほの一式）ソフト移設費用 ・セキュリティソフト ×3台分		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<p>意義：</p> <p>①バックオフィス時間を軽減することで、業務の効率化や職員の負担軽減を図り、働きやすい環境を整備する。</p> <p>②新規受け入れについて、現員でも常に受け入れ可能な状態にし、より多くの利用者担当を行う。</p> <p>③スーパービジョンや研修の実施、参加を増やすことができ、事業所全体の質の向上を図る。</p> <p>目的：</p> <p>①ICTを活用することで、車中での入力が可能となり移動時間の効率化が図られ、空き時間の有効活用ができる。</p> <p>②常に迅速な対応ができ、ペーパーレス化も図られ、業務の効率化・業務の質が向上する。</p> <p>③感染症や非常災害の発生時でも、在宅ワークができ業務継続が可能となる。</p> <p>④取扱件数の逡減性において、居宅介護支援費（Ⅱ）が算定可能となり、より多くの利用者の支援ができる。</p> <p>現状の問題点：</p> <p>①訪問後、事業所へ戻り入力作業を行っており、作業効率が悪く業務負担が大きい。</p> <p>②事業所内で役割分担やできない部分のフォローを行い業務に当たっているが、偏りや心身的負担が多く離職率も高い。</p> <p>③在宅ワークは不可。万が一、事業所で感染、自宅療養、自宅待機者が出た場合や災害が発生した場合、業務継続が困難となる。</p> <p>④3名の人員体制で担当件数が満員になった時期もあり、新規受け入れができないことが続いた。</p>		

	<p>運営方法：</p> <p>①クラウド型業務ソフト（ほのぼの next）が使用可能なモバイルノートパソコンを、職員 3 名が事業所外でインターネットに接続して使用する。</p> <p>職員との導入意義の共有：</p> <p>①事業所外でもリアルタイムに予定変更やモニタリング、支援経過、アセスメント、ケアプラン作成及び修正等が行えるようになり、漏れの軽減、業務の効率化、職員の心身の負担が軽減する。</p> <p>②心身の負担が軽減することにより、事業所内でのコミュニケーションが増え、業務に対する志気が高まる。</p> <p>③職員全員が ICT を使いこなし、自ら業務改善を進めていくことを意識づける。</p>
導入により達成すべき目標	<p>○導入後（翌年） 1 年目</p> <p>①モバイル機器・ソフト操作の習熟</p> <p>②残務処理時間の削減</p> <p>③取扱件数 年間 7 件増</p> <p>○ 2 年目</p> <p>①モバイル機器・ソフト操作の使塾</p> <p>②残務処理時間ゼロを目指す</p> <p>③取扱件数 年間 7 件増</p> <p>○ 3 年目</p> <p>①モバイル機器・ソフト操作の使塾及び応用</p> <p>②残務処理時間ゼロ継続を目指す</p> <p>③取扱件数 年間 7 件以上増</p>
導入により期待される効果等	<p>○導入後（翌年） 1 年目</p> <p>①業務負担の軽減が図られ、事業所会議やスーパービジョンでの職員間の係わりが増え支援の手法が広がる。</p> <p>②取扱件数 7 件増加</p> <p>○ 2 年目</p> <p>①常に迅速な対応ができ、利用者や家族、関係事業所との信頼関係が深まる。</p> <p>②職員の気持ちにも余裕ができ、業務に対し向上心が強まる。</p> <p>③取扱件数 7 件増加</p> <p>○ 3 年目</p> <p>①事業所会議などでの掘り下げでの課題検討や振り返り、事業所内外での研修の参加が増え、事業所全体の質が向上する。</p> <p>②業務の工夫、改善が行われ働きやすい環境が整備される。</p> <p>③取扱件数 7 件以上増加達成</p> <p>3 年間 TOTAL 20 件以上増加</p>

効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	例）介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	法人内、本部やくろさわ、みはらしの丘とデータ共有と連携（業務ソフト内）

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人尾花沢市社会福祉協議会		
事業所名	尾花沢市社会福祉協議会訪問介護事業所 【事業所番号：0671800100】	利用者数	73人
介護サービスの種類	訪問介護	職員数 (常勤換算)	7.5人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	令和4年1月導入予定 CarePaletteHom 使用権パック (5台)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	訪問介護事業常勤・非常勤12名で稼働している。令和3年3月より訪問介護のソフトを導入し9か月過ぎたが、ネットワーク上5台しか入れない為、実績を入力する際それぞれが入力したい時にできない状態が続いており業務に支障をきたしています。		
導入により達成すべき目標	○導入後(翌年)1年目 スタッフのストレス解消と時間の有効活用。 ○2年目 利用者の変化や生活の問題を早期に把握し、関係機関との連携がしやすくなる。 ○3年目 仕事の効率アップによりサービス提供責任者の負担が軽減される。		
導入により期待される効果等	○導入後(翌年)1年目 サービス終了後すぐに入力完了することで、仕事がスムーズに流れる。 ○2年目 個々のヘルパーの仕事がスムーズに流れることで、利用者の変化や生活の様子をサービス提供責任者が早期に把握できる。また、入力ミスを減少することができる。 ○3年目 各ヘルパーの仕事の効率アップにより、サービス提供責任者の業務や時間の使い方が改善される。		
繰り返しの活用状況が確認できる日誌などを用いるなど他の介護サービス事業者等の	○スタッフのストレスケアチェック表 業務に対するアンケートを定期的実施する。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

有(予定を含む)の場合は、 具体的なデータ連携の内 容、連携先、連携方法等	
---	--

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 MSC		
事業所名	グループホーム燦燦 【事業所番号：0673200341】	利用者数	18
介護サービスの種類	(介護予防) 地域密着型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	14.7
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	介護ワト・ケア記録+すぐろくタブレット2台、令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	介護ワト・ケア記録+すぐろくタブレットを導入することにより、職員の記録時間が短縮され、それに伴い本来業務であるサービス提供に割ける時間が増加し、利用者のより良いケアに繋がる。導入に向けて共有ルールを設け、責任者を中心として入力等の研修を行う。		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後(翌年)1年目 職員全員が導入ルールを把握し、記録時間短縮になるようにする。 <input type="radio"/> 2年目 記録時間短縮と共に更にきめ細やかな記録内容の充実を図る。 <input type="radio"/> 3年目 記録内容の充実に伴いケアの充実につながるようにする。		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後(翌年)1年目 記録時間短縮により、余裕のある介護に繋がる。 <input type="radio"/> 2年目 記録時間短縮で介護時間の効率が良くなることで人材定着に繋がる。 <input type="radio"/> 3年目 人材定着・余裕のある介護等によりサービスの質を向上させる。		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	介護職員と利用者の満足度や、勤務時間中の介護従事時間に係わる時間の増減、日々の業務日誌等について ITC 活用状況をもとに効果検証します。		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 MSC		
事業所名	デイサービス 燦燦 【事業所番号： 0673200366 】	利用者数	12
介護サービスの種類	地域密着型通所介護 介護予防・日常生活支援総合事業 通所型サービス	職員数 (常勤換算)	5.8
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	介護ワト・ケア記録+すぐろくタブレット1台、令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の 問題点・運用方法・職員との 導入意義の共有）	介護ワト・ケア記録+すぐろくタブレットを導入することにより、職員の記録時間が短縮され、それに伴い本来業務であるサービス提供に割ける時間が増加し、利用者のより良いケアに繋がる。導入に向けて共有ルールを設け、責任者を中心として入力等の研修を行う。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 職員全員が導入ルールを把握し、記録時間短縮になるようにする。 ○2年目 記録時間短縮と共に更にきめ細やかな記録内容の充実を図る。 ○3年目 記録内容の充実に伴いケアの充実につながるようにする。		
導入により期待される効果 等	○導入後（翌年）1年目 記録時間短縮により、余裕のある介護に繋がる。 ○2年目 記録時間短縮で介護時間の効率が良くなることで人材定着に繋がる。 ○3年目 人材定着・余裕のある介護等によりサービスの質を向上させる。		
効果検証の方法（効果に 関するデータを客観的な評価 指標に基づいて記録）	介護職員と利用者の満足度や、勤務時間中の介護従事時間に係わる時間の増減、日々の業務日誌等について ITC 活用状況をもとに効果検証します。		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有（予定を含む）の場合は、 具体的なデータ連携の内 容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 花はな		
事業所名	訪問介護ステーション花はな 【事業所番号：0670401595】	利用者数	32人
介護サービスの種類	訪問介護	職員数 (常勤換算)	6.5人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	【記入例】・介護ソフト名 一式購入 令和3年11月導入予定 NDソフト Care Palette		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<p>意義・目的：タブレット導入により、迅速な情報提供を可能にするとともに事務作業を効率化する。</p> <p>現在の問題点：記録用紙での運用のため、請求システムへ実績を入力する作業が生じ、入力間違いが発生しやすい。また、利用者の状況の申し送りはノートで実施しているため、タイムラグが発生している。</p> <p>運用方法：一人一台タブレットを配布する。記録用紙からタブレット入力への移行期間を設け、最終的には紙を廃止する。</p>		
導入により達成すべき目標	<p>○導入後（翌年）1年目 ペーパーレス化により記録業務の省力化</p> <p>○2年目 直接援助の時間を強化 空いた時間で新規利用者の開拓 感染症・災害時のマニュアル作りの構築への利用</p> <p>○3年目 地域包括ケアシステムの構築 LIFEの準備</p>		
導入により期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目 職員のふたん軽減</p> <p>○2年目 実務介護時間の増加</p> <p>○3年目 地域包括ケアシステムの運用により、迅速な情報共有の実施 LIFEへの対応を行う</p>		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<p>事務作業にかかる時間を導入前後で比較する。</p> <p>利用者アンケートを集計し、作業効率の検証を行う。</p>		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

2 事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 ケアサービスつきみ		
事業所名	グループホームねずがせき 【事業所番号：0673100087】	利用者数	18名
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	14.7名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	介護ソフト・ケア記録+すぐろくタブレット2台、令和4年2月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	現在の問題点である記録業務の時間を削減し、本来の業務であるケア提供のより一層の充実を図る。職員の習熟及び教育・研修会の実施を重ね、導入意義の共有を徹底する。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 研修会を年6回実施し、全職員のICT技術の習熟を目指す。 ○2年目 記録業務時間を削減し、ケア提供の充実を図る。 ○3年目 データを継続的に取ることにより、より良いケア提供を実現する。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 記録業務時間の削減、紙媒体とその保管場所の削減。 ○2年目 記録業務時間の削減による、ケア提供の充実。 ○3年目 ケア提供の充実による、利用者の満足度の向上。		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	毎月、職員会議で運用状況や課題を検証し、改善策を検討し記録していく。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 ケアサービスつきみ		
事業所名	多機能ねずがせき 【事業所番号： 0690700059】	利用者数	21名
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	10.7名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	介護ソフト・ケア記録+すぐろくタブレット1台、令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	現在の問題点である記録業務時間を削減し、本来の業務であるケア提供のより一層の充実を図る。職員の為の ICT 技術の教育・習熟・研修会の実施を重ね、導入意義の共有を徹底する。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 研修会を年4回実施し、全職員の ICT 技術の習熟を目指す。 ○2年目 記録業務時間の削減し、ケア提供の充実を図る。 ○3年目 データを継続的に取ることによる、より良いケア提供を実現する。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 記録業務時間の削減、紙媒体とその保管場所の削減。 ○2年目 記録業務時間の削減による、ケア提供の充実。 ○3年目 ケア提供の充実による、利用者の満足度の向上。		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	毎月、職員会議で運用状況や課題を検証し、改善策を検討し記録していく。		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所における ICT 機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	有限会社青空介護サービス		
事業所名	青空つどいの家 【事業所番号：0672300761】	利用者数	30
介護サービスの種類	(介護予防) 通所介護	職員数 (常勤換算)	13.37
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン 購入 令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在、紙ベースで記録や請求業務を行っているが、記入にかかる時間やそれに割く人手に以前より悩んでいた。また、転記ミス、記入漏れなどもあり、対応する時間も多くなっていたため、この度は業務の効率化、職員負担の軽減を図ることで、職員も働きやすい職場環境づくりを現場スタッフと共に行っていききたい。		
導入により達成すべき目標	○導入後(翌年)1年目 職員がスムーズに日常業務を行えるようになる ○2年目 タブレットを活用し、会議参加など多岐にICTを活用する ○3年目 ICTを利用し、職員間の情報共有を密にし、よりよい職場環境を目指す		
導入により期待される効果等	○導入後(翌年)1年 職員の業務負担軽減、残業などの時間外を無しにする ○2年目 日常業務を効率よく行い、働きやすい職場環境にする ○3年目 タブレットを用いて、サービス会議もスムーズに情報共有を行い他業種との連携を深め、質の高い介護サービスを提供できる		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	記録にかかる時間の短縮、介護従事者からの聞き取りによる情報、従業員の時間外勤務の短縮などを、アンケート、もしくは聞き取りを実施。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	有限会社青空介護サービス		
事業所名	笑和感 【事業所番号：0671200475】	利用者数	28
介護サービスの種類	(介護予防) 通所介護	職員数 (常勤換算)	14.39
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン 購入 令和3年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在、紙ベースで記録や請求業務を行っているが、記入にかかる時間やそれに割く人手に以前より悩んでいた。また、転記ミス、記入漏れなどもあり、対応する時間も多くなっていたため、この度は業務の効率化、職員負担の軽減を図ることで、職員も働きやすい職場環境づくりを現場スタッフと共に行っていききたい。		
導入により達成すべき目標	○導入後(翌年)1年目 職員がスムーズに日常業務を行えるようになる ○2年目 タブレットを活用し、会議参加など多岐にICTを活用する ○3年目 ICTを利用し、職員間の情報共有を密にし、よりよい職場環境を目指す		
導入により期待される効果等	○導入後(翌年)1年 職員の業務負担軽減、残業などの時間外を無しにする ○2年目 日常業務を効率よく行い、働きやすい職場環境にする ○3年目 タブレットを用いて、サービス会議もスムーズに情報共有を行い他業種との連携を深め、質の高い介護サービスを提供できる		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	記録にかかる時間の短縮、介護従事者からの聞き取りによる情報、従業員の時間外勤務の短縮などを、アンケート、もしくは聞き取りを実施。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

2 事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会医療法人公徳会		
事業所名	グループホーム ぬくもりの家 【事業所番号：0691900039】	利用者数	18
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	15
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・NDソフトウェア（株）ほのぼの介護ソフト 2台 一式購入 ケアパレット2台購入 ・オーリンク 血圧計、検温計、SPO2 器機各2台購入 令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	現在紙ベースで記録をしており、転記の必要性がある。介護ソフトと連動が図れるタブレットや医療機器を導入し、記録作業の軽減、業務の効率化、情報の共有を図る。LIFEを活用する。		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後（翌年）1年目 記録作業から転記が無くなる。タブレット操作方法の習得 <input type="radio"/> 2年目 記録作業の時間の軽減、書類のスリム化 <input type="radio"/> 3年目 業務の効率化により、入所者と直接関わる時間の増加		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後（翌年）1年目 記録作業時間の削減 <input type="radio"/> 2年目 職員の記録作業の負担軽減、情報の共有化 <input type="radio"/> 3年目 業務の効率化により入所者と関わる時間が増えサービスの質向上		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	ICTを導入しての評価、バイタルや経過記録作業時間の短縮、職員の記録作業負担軽減等職員にアンケートを実施する。評価をもとに業務の見直し、改善を行う。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社暁		
事業所名	ひかり居宅介護支援事業所 【事業所番号：0671200640】	利用者数	20
介護サービスの種類	居宅介護支援事業所	職員数 (常勤換算)	1
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ソフト「ケア樹」導入済み タブレット 購入時期 12月中 購入1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入（契約期間 令和3年12月～ 年 月） リース（契約期間 令和3年12月～ 4年10月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	居宅介護支援事業所では、 担当者会議、モニタリング訪問で会議内容をメモして、事業所に戻ってから書類を作成しているため、タブレットを導入してその場で記録できるようになると作業の効率が上がる		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 タブレットでの入力になれる ○2年目 普段の業務にタブレットを活用する ○3年目 導入により介護支援専門員の負担軽減につなげる		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 介護記録方法等の見直し ○2年目 間接業務（移動・書類の記入など）時間の短縮 ○3年目 事業所内（職員間）の円滑な情報共有		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	・職員にアンケートを実施し、業務の改善効率を調べる アンケート用紙は別紙		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 今後、どの程度、データ連携が取れるか確認し、連携が出来るようにする		
有（予定を含む）の場合は、 具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社暁		
事業所名	ディサービスひかり 【事業所番号：0671200624】	利用者数	定員 18名
介護サービスの種類	地域密着型通所介護	職員数 (常勤換算)	7.4
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ソフト「ケア樹」導入済み タブレット 購入時期 12月中 購入 1台		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入（契約期間 令和3年12月～ 年 月） リース（契約期間 令和3年12月～ 4年10月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	紙ベースで記録しているので、タブレットを導入して作業の効率と情報の共有を行い、生産性の向上を図る		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 タブレットでの入力になれる ○2年目 普段の業務にタブレットを活用する ○3年目 導入により介護職員等の負担軽減につなげる		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 介護記録方法等の見直し ○2年目 間接業務（移動・書類の記入など）時間の短縮 ○3年目 事業所内（職員間）の円滑な情報共有		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	・職員にアンケートを実施し、業務の改善効率を調べる アンケート用紙は別紙		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 今後、どの程度、データ連携が取れるか確認し、連携が出来るようにする		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人みのり福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームソラーナ 【事業所番号：0673000311】	利用者数	定員 80名
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	職員数 (常勤換算)	44.3人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	Wi-Fi 新設工事一式（Wi-Fi 環境整備） ※台数等詳細別紙「見積書」のとおり。 令和4年2月～3月工事、導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<p>現在、事業所内のインターネット環境は有線式であり、スタッフルーム等特定の場所でのみ介護記録業務を行っている。そのため、記録業務を行う際に見守りが手薄になる、タイムリーな記録ができない、同時帯に記録業務に従事できる職員が限定される、などの課題がみられる。また、ナースコール設備も増床部分との共有ができず、リスクマネジメントや、職員の動線が非効率な点からも課題としてきた。</p> <p>そのため本事業において Wi-Fi 環境整備を行い、以下のような業務効率化とサービス充実の基盤としたい。</p> <p>Wi-Fi 環境を基に、①タブレットや介護支援システム活用による業務改善・効率化、②利用者様の見守り環境整備と効率化、を考えている。将来的には③ご利用者・ご家族へのサービス差別化（オンライン面会、レクリエーションの充実など）も視野に入れている。</p> <p>記録やナースコール対応については、数年前より職員と課題共有してきた点であり、Wi-Fi 環境整備により、選択肢がより広がることを期待している。また、今年度改正により導入された LIFE に関する加算算定においても、PDCA サイクルの視点で考えたとき、ケアプランとの連動や記録の重要性が増すのではないかと職員間で情報共有してきた。</p> <p>以上の点から、今回の Wi-Fi 環境整備は働く職員の業務生産性と効率性の向上を図ることができ、心身の業務負担軽減に繋げることができる。さらに、介護人材の確保にも繋がるものと考えている。</p>		
導入により達成すべき目標	<p>○導入後（翌年）1年目 介護記録システムの見直し、タブレット等導入の検討。 新しい介護記録システムの導入（操作方法の習得など）。</p> <p>○2年目 新しい介護記録システムの導入定着と導入後の検証。</p> <p>○3年目 Wi-Fi 環境整備を活用した新しい面会方法導入と定着。 Wi-Fi 環境を基盤とした介護機器（例えば、見守り機器やナースコールなど）導入を検討・試行（時期が合えば早期に実施）。</p>		

<p>導入により期待される効果等</p>	<p>○導入後（翌年）1年目 介護記録の効率化（記録場所までの移動、転記を含めた記録にかかる時間などの短縮）が図られる。</p> <p>○2年目 新しい介護記録システムが定着し、より一層情報連携が進む。</p> <p>○3年目 多くの職員が新しい面会方法に慣れ、活用できる。 Wi-Fi環境整備を基盤とした機器導入等を検討・試行し、さらに業務改善に向けた取り組みが図られる。</p>
<p>効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）</p>	<p>・導入前・導入後に従事者（介護職のほか、多職種）へのアンケートを実施。 介護記録に関する時間（移動、転記も含む）の短縮、多職種連携の視点から情報共有に関する満足度などを検証。</p>
<p>LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>
<p>データ連携の有無 ※該当する方に○を記入</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>
<p>有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等</p>	<p>・介護ソフトを統一しており、同一法人内他拠点・他事業所との連携が図られている。</p>

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	湖山ケアサービス高堂 【事業所番号：0690100698】	利用者数	29名
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	11.1名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット(4)・PC(1)導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットからの記録作業や介護状況を素早く記入する事で、業務の効率化を図る ・バイタル・ケア記録の状況をグラフ化し分析・対策を実施 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 電子記録を運用し、記録業務の効率化を図る。 ○2年目 集計表・グラフ化から事故防止への適切な分析・対策を図る ○3年目 業務の効率化と共に、LIFEに準拠した情報の提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める ○2年目 ペーパーレスによるコストダウン ○3年目 LIFEへの情報提供の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化導入に向けて、第1弾としてWi-Fi環境の整備を実施。電子記録化導入後は、記録時間の短縮による業務の効率化、直接ケアに費やす時間の確保を行う。各データをグラフ化する事で、ご利用者の心身状況を客観的に評価できる		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	○有・無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有・○無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	湖山ケアサービス山形 【事業所番号：0690100474】	利用者数	29名
介護サービスの種類	看護小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	12名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット(4)・PC(1)導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットからの記録作業や介護状況を素早く記入する事で、業務の効率化を図る ・バイタル・ケア記録の状況をグラフ化し分析・対策を実施 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 電子記録を運用し、記録業務の効率化を図る。 ○2年目 集計表・グラフ化から事故防止への適切な分析・対策を図る ○3年目 業務の効率化と共に、LIFEに準拠した情報の提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める ○2年目 ペーパーレスによるコストダウン ○3年目 LIFEへの情報提供の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化導入に向けて、第1弾としてWi-Fi環境の整備を実施。電子記録化導入後は、記録時間の短縮による業務の効率化、直接ケアに費やす時間の確保を行う。各データをグラフ化する事で、ご利用者の心身状況を客観的に評価できる		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver.1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	湖山ケアサービス米沢 【事業所番号：0690400155】	利用者数	29名
介護サービスの種類	看護小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	12名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット(4)・PC(1)導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットからの記録作業や介護状況を素早く記入する事で、業務の効率化を図る ・バイタル・ケア記録の状況をグラフ化し分析・対策を実施 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 電子記録を運用し、記録業務の効率化を図る。 ○2年目 集計表・グラフ化から事故防止への適切な分析・対策を図る ○3年目 業務の効率化と共に、LIFEに準拠した情報の提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める ○2年目 ペーパーレスによるコストダウン ○3年目 LIFEへの情報提供の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化導入に向けて、第1弾としてWi-Fi環境の整備を実施。電子記録化導入後は、記録時間の短縮による業務の効率化、直接ケアに費やす時間の確保を行う。各データをグラフ化する事で、ご利用者の心身状況を客観的に評価できる		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	湖山病院ケアプランセンター 【事業所番号：0670101542】	利用者数	名
介護サービスの種類	居宅介護支援事業所	職員数 (常勤換算)	3.0名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット（3）導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所向け記録システムを導入し、ケアマネ業務・記録作業の効率化、作業の迅速化を図る。 ・多職種との連携強化、情報共有の円滑化を目指す。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 電子記録を運用し、ケアマネ業務・記録業務の効率化を図る ○2年目 多職種との連携強化とスムーズな情報共有を図る ○3年目 業務の効率化とともに、LIFE に準拠した情報提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める、時間外労働の削減 ○2年目 他事業所や多職種間の情報共有の円滑化が図れる ○3年目 LIFE への情報共有の効率化 		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	電子記録化システム導入後は、記録時間の短縮によるケアマネ業務の効率化、時間外労働の削減を評価するため、定期的な会議等を通じて、時間外の状況について効果を確認する。		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	グループホーム 友結 【事業所番号：0670101591】	利用者数	18名
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	11.2名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット (5) 導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットからの記録作業や介護状況を素早く記入する事で、業務の効率化を図る ・バイタル・ケア記録の状況をグラフ化し分析・対策を実施 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 電子記録を運用し、記録業務の効率化を図る。 ○2年目 集計表・グラフ化から事故防止への適切な分析・対策を図る ○3年目 業務の効率化と共に、LIFEに準拠した情報の提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める ○2年目 ペーパーレスによるコストダウン ○3年目 LIFEへの情報提供の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化導入に向けて、第1弾としてWi-Fi環境の整備を実施。電子記録化導入後は、記録時間の短縮による業務の効率化、直接ケアに費やす時間の確保を行う。各データをグラフ化する事で、ご利用者の心身状況を客観的に評価できる		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	グループホーム 香紅の里 【事業所番号：0671400281】	利用者数	18名
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	13名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット（5）導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットからの記録作業や介護状況を素早く記入する事で、業務の効率化を図る ・バイタル・ケア記録の状況をグラフ化し分析・対策を実施 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 電子記録を運用し、記録業務の効率化を図る。 ○2年目 集計表・グラフ化から事故防止への適切な分析・対策を図る ○3年目 業務の効率化と共に、LIFE に準拠した情報の提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める ○2年目 ペーパーレスによるコストダウン ○3年目 LIFE への情報提供の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化導入に向けて、第1弾として Wi-Fi 環境の整備を実施。電子記録化導入後は、記録時間の短縮による業務の効率化、直接ケアに費やす時間の確保を行う。各データをグラフ化する事で、ご利用者の心身状況を客観的に評価できる		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所における ICT 機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	介護老人保健施設 かがやきの丘 【事業所番号：0652680000】	利用者数	200名
介護サービスの種類	・介護老人保健施設 ・通所リハビリテーション	職員数 (常勤換算)	165.6名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイズマン IDC 介護老人保健施設管理システム 5台 IDC デイサービス管理システム 1台 IDC 在宅ケアマネジメントシステム 1台 IDC 受託業務オプション 1台 IDC 施設ケアマネジメント支援システム 1台 IDC 料金合算システム 1台 ・フォートラン 給食管理システム 1台 栄養ケアマネジメントシステム 1台 ※令和4年2月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・既に導入済みの介護ソフト「ワイズマン」を追加で導入し、記録、情報共有、請求業務の効率化を図るとともに、L I F Eへの情報提出をより効果的に実施する。 ・既に導入済みの給食管理・栄養マネジメントソフト「フォートラン」を追加で導入し、記録、情報共有業務の効率化を図るとともに、L I F Eへの情報提出を行う。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 書類の電子化・ペーパーレス化によるコスト削減と管理面の労力削減を図る。 ○2年目 多職種が適宜、情報の共有、連携の利便性を図る。 ○3年目 記録業務の効率化と事務業務時間の削減、省力化を図る。 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後(翌年)1年目 職員が毎日事務所に集まらなくてよくなる。 ペーパーレス化によるコスト削減と管理の労力削減が見込める。 ○2年目 L I F Eを有効活用し、ケアの質の向上が図られる。 情報共有・連携が迅速に図られる。 ○3年目 記録、請求等の事務作業の効率化が図られる。 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回顧客満足度アンケート実施による利用者満足度の確認。 ・月1回会議を通じて、業務の短縮状況、利便性の向上について進捗状況の確認。 		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	香紅の里居宅介護支援事業所 【事業所番号：0671400307】	利用者数	名
介護サービスの種類	居宅介護支援事業所	職員数 (常勤換算)	2.87名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン電子記録化ソフト、システム一式導入 タブレット（3）導入 ※令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所向け記録システムを導入し、ケアマネ業務・記録作業の効率化、作業の迅速化を図る。 ・多職種との連携強化、情報共有の円滑化を目指す。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 電子記録を運用し、ケアマネ業務・記録業務の効率化を図る ○2年目 多職種との連携強化とスムーズな情報共有を図る ○3年目 業務の効率化とともに、LIFE に準拠した情報提供を実施 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 手書き作業減少で業務効率化が見込める、時間外労働の削減 ○2年目 他事業所や多職種間の情報共有の円滑化が図れる ○3年目 LIFE への情報共有の効率化 		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	電子記録化システム導入後は、記録時間の短縮によるケアマネ業務の効率化、時間外労働の削減を評価するため、定期的な会議等を通じて、時間外の状況について効果を確認する。		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 べにばな福祉会		
事業所名	ヘルパーステーションのどか 【事業所番号： 0672600491 】	利用者数	40名
介護サービスの種類	訪問介護	職員数 (常勤換算)	10名 (8.6名)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ほのぼのNEXTケア総合記録システム一式購入 iPadPro 3台 令和3年12月購入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在、通所介護のサービス記録は、職員の記入による記録を行っているが、ほのぼのソフトの導入を行い、日常の記録業務を電子入力することにより、記録業務の時間を軽減させたい目的があります。 上記の電子入力の記録については、職員への周知を行い、導入については共有の認識でおります。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 介護記録の電子入力を導入し、操作方法の習得。 利用者の情報の共有を効果的に行う。 ○2年目 業務時間の削減を目指し、職員の有給休暇の取得率向上。 利用者との関わりの時間を多く確保する。 ○3年目 利用者の満足度の向上。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 介護記録の電子入力を導入し、操作方法などの研修、効果の確認。 利用者の情報の共有を効果的に行う。 ○2年目 カルテ記入の時間が削減され、その分、利用者との関わりの時間が増えたり、職員の有給休暇の取得しやすい環境を目標にする。 ○3年目 職員が利用者との関わりの時間が増えることで、きめ細かなサービスが提供でき、利用者の満足度も向上する。		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	現状の介護記録に要する人員数と、時間について、導入後と比べ評価する。導入後の職員が利用者とかかわる時間なども比較する。 利用者の満足度を確認するためにアンケートにて、満足度の確認を行う。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		

有(予定を含む)の場合は、
具体的なデータ連携の内容、
連携先、連携方法等

ソフトウェア導入にあたり、インターネットサーバーにデータを保管し、常時、データの入力と、更新が可能な体制を作ります。また、ソフトウェアの動作に不具合があれば、ソフトウェアのコールセンターへの問い合わせなどの体制も同時に契約する。

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社 べにばな福祉会		
事業所名	ヘルパーステーション歩夢 【事業所番号： 0672600509 】	利用者数	45名
介護サービスの種類	通所介護	職員数 (常勤換算)	16名 (13名)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ほのぼのNEXTケア総合記録システム一式購入 iPadPro 3台 令和3年12月購入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要(意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	現在、通所介護のサービス記録は、職員の記入による記録を行っているが、ほのぼのソフトの導入を行い、日常の記録業務を電子入力することにより、記録業務の時間を軽減させたい目的があります。 上記の電子入力の記録については、職員への周知を行い、導入については共有の認識でおります。		
導入により達成すべき目標	○導入後(翌年)1年目 介護記録の電子入力を導入し、操作方法の習得。 利用者の情報の共有を効果的に行う。 ○2年目 業務時間の削減を目指し、職員の有給休暇の取得率向上。 利用者との関わりの時間を多く確保する。 ○3年目 利用者の満足度の向上。		
導入により期待される効果等	○導入後(翌年)1年目 介護記録の電子入力を導入し、操作方法などの研修、効果の確認。 利用者の情報の共有を効果的に行う。 ○2年目 カルテ記入の時間が削減され、その分、利用者との関わりの時間が増えたり、職員の有給休暇の取得しやすい環境を目標にする。 ○3年目 職員が利用者との関わりの時間が増えることで、きめ細かなサービスが提供でき、利用者の満足度も向上する。		
効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	現状の介護記録に要する人員数と、時間について、導入後と比べ評価する。導入後の職員が利用者とかかわる時間なども比較する。 利用者の満足度を確認するためにアンケートにて、満足度の確認を行う。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		

有(予定を含む)の場合は、
具体的なデータ連携の内容、
連携先、連携方法等

ソフトウェア導入にあたり、インターネットサーバーにデータを保管し、常時、データの入力と、更新が可能な体制を作ります。また、ソフトウェアの動作に不具合があれば、ソフトウェアのコールセンターへの問い合わせなどの体制も同時に契約する。

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 敬寿会		
事業所名	訪問看護リハビリステーション敬寿園 【事業所番号：0660190257】	利用者数	101名
介護サービスの種類	訪問看護	職員数 (実人数)	12名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ほのぼのNEXT 一式購入4台、iPhone 3台、iPad 3台、モバイルPC 4台、セキュリティソフト 一式購入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	ICT 機器を導入し活用することで、訪問先での記録及び等業務の効率化及び情報共有の強化を図る。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 事業所外での記録等業務の確立 ○2年目 事業所外での職員間の情報共有の強化 ○3年目 円滑で効率的な記録及び情報共有		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 事業所外での空き時間の有効活用 ○2年目 事業所外での利用者状況や予定を把握できる ○3年目 業務の効率化及び情報共有の強化		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> 書類の電子媒体による記録による時間効率化の確認 書類の簡素化による整備書類の減少の確認 ミーティングでの業務効率化効果検証 直行直帰での業務で、車移動の煩雑化現象の確認 		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	記録業務、情報共有業務、請求業務を一貫して処理することが可能となっている。		

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 かたばみ会		
事業所名	多機能施設かたばみ荘 【事業所番号： 0690800123 】	登録定員	29名以下
介護サービスの種類	小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	11.3
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイズマン 「すぐろくタブレット一式」 1ライセンス (1台) ・無線アクセスポイント設置一式 令和4年2月導入予定 (機器入荷状況により異なる)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所では、WiFi環境を整備しておらず、介護ソフトについては、有線LAN環境で限られた場所とパソコンで記録を行っている。人材不足の中、記録業務の負担をWiFi環境の整備及びタブレットの導入により大幅に軽減し、利用者に対するサービスの質の向上に反映したい。 ・事業所内で感染症が発生した場合、感染拡大防止の観点から、事業所内ゾーニングを行った際、タブレットを使用することで、各エリアでの記録管理がスムーズに行える。 		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンダーによるシステム説明会、マニュアルによる使用方法の習熟。 ・記録入力業務の短縮。 <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録入力業務の短縮。 ・正確かつスムーズな情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・直接介護業務の増加。 		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 ・職員間の円滑な情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる時間の増加によるサービスの質の向上。 		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	効果の検証方法としては現場職員に対して、 <ol style="list-style-type: none"> ①バイタルやケース記録の入力時間の短縮。 ②職員の業務負担の軽減。 ③タブレット導入に対する職員及び利用者の満足度等について聞き取り等で調査を行う。 		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 かたばみ会		
事業所名	在宅介護支援センターかたばみ荘 【事業所番号： 0670800663】	利用者数	117人
介護サービスの種類	居宅介護支援	職員数 (常勤換算)	3.4
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・ワイズマン 「すぐろくケアマネー式」 1ライセンス (1台) ・ポケットWiFi装置1台 令和4年2月導入予定 (機器入荷状況により異なる)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	・昨年度、当事業所内ではWiFi環境を整備し、コロナ禍におけるリモート研修への参加などを行ってきたが、介護ソフトについては、WiFiに対応した端末がなく、有線LAN環境で限られた場所とパソコンで記録や情報管理を行っている。居宅介護事業所では、訪問先などでのリアルタイムな情報収集や情報提供が、迅速なケアマネジメントにつながる事が予測される。その為にも、事業所外に持ち出せるタブレットと通信環境を整えることで、より良質なサービスの提供が期待できる。		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 ・ベンダーによるシステム説明会、マニュアルによる使用方法の習熟。 ・記録入力、情報収集業務の短縮。 <input type="radio"/> 2年目 ・記録入力、情報収集業務の短縮。 ・正確かつスムーズな情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 ・業務の効率化、記録漏れの防止。		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 ・記録、情報収集業務の負担軽減。 <input type="radio"/> 2年目 ・記録、情報収集業務の負担軽減。 ・利用者及び家族、職員間の円滑な情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 ・利用者及び家族の満足度の向上。		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	効果の検証方法としては現場職員に対して、 ①記録や情報収集の時間の短縮。 ②職員の業務負担の軽減。 ③タブレット導入に対する職員及び利用者と家族の満足度等について聞き取り等で調査を行う。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 かたばみ会		
事業所名	デイサービスセンターかたばみ荘 【事業所番号： 0690800370 】	利用者数	18
介護サービスの種類	地域密着型通所介護	職員数 (常勤換算)	5.7
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・ワイズマン 「すぐろくタブレット一式」 1ライセンス (1台) 令和4年2月導入予定 (機器入荷状況により異なる)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、当事業所ではWiFi環境を整備し、コロナ禍におけるリモート研修への参加などを行ってきたが、介護ソフトについては、WiFiに対応した端末がなく、有線LAN環境で限られた場所とパソコンで記録を行っている。人材不足の中、記録業務の負担をタブレットの導入により大幅に軽減し、利用者に対するサービスの質の向上に反映したい。 ・利用者家族や関係機関などに対して、的確かつ効率的な情報提供を行うことにより、円滑な利用管理を実現させたい。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンダーによるシステム説明会、マニュアルによる使用方法の習熟。 ・記録入力業務の短縮。 ○2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録入力業務の短縮。 ・正確かつスムーズな情報共有。 ○3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・直接介護業務の増加。 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 ○2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 ・職員間、利用者家族及び関係機関への円滑な情報共有。 ○3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる時間の増加によるサービスの質の向上。 		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	効果の検証方法としては現場職員に対して、 <ol style="list-style-type: none"> ①バイタルやケース記録の入力時間の短縮。 ②職員の業務負担の軽減。 ③タブレット導入に対する職員及び利用者・家族の満足度等について聞き取り等で調査を行う。 		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 かたばみ会		
事業所名	ショートステイサービスかたばみ荘 【事業所番号： 0670800440 】	利用者数	10
介護サービスの種類	短期入所生活介護	職員数 (常勤換算)	4.8
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・ワイズマン 「すぐろくタブレット一式」 1ライセンス (1台) 令和4年2月導入予定 (機器入荷状況により異なる)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、当事業所ではWiFi環境を整備し、コロナ禍におけるリモート面会や研修への参加などを行ってきたが、介護ソフトについては、WiFiに対応した端末がなく、有線LAN環境で限られた場所とパソコンで記録を行っている。人材不足の中、記録業務の負担をタブレットの導入により大幅に軽減し、利用者に対するサービスの質の向上に反映したい。 ・施設内で感染症が発生した場合、感染拡大防止の観点から、施設内ゾーニングを行った際、タブレットを使用することで、ショートステイサービス内での記録管理がスムーズに行える。 		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンダーによるシステム説明会、マニュアルによる使用方法の習熟。 ・記録入力業務の短縮。 <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録入力業務の短縮。 ・正確かつスムーズな情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・直接介護業務の増加。 		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・記録業務の負担軽減。 ・職員間の円滑な情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に関わる時間の増加によるサービスの質の向上。 		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	効果の検証方法としては現場職員に対して、 <ol style="list-style-type: none"> ①バイタルやケース記録の入力時間の短縮。 ②職員の業務負担の軽減。 ③タブレット導入に対する職員及び利用者の満足度等について聞き取り等で調査を行う。 		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	社会福祉法人 かたばみ会		
事業所名	特別養護老人ホームかたばみ荘 【事業所番号：0670800416】	利用者数	80
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	職員数 (常勤換算)	46.7
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・ワイズマン 「すぐろくタブレット一式」 4ライセンス (4台) ・ワイズマン 介護老人福祉施設管理システム「ケア記録オプション」 1ライセンス 令和4年2月導入予定 (機器入荷状況により異なる)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	・昨年度、当施設ではWiFi環境を整備し、コロナ禍におけるリモート面会や研修への参加などを行ってきたが、介護ソフトについては、WiFiに対応した端末がなく、有線LAN環境で限られた場所とパソコンで記録を行っている。人材不足の中、記録業務の負担をタブレットの導入により大幅に軽減し、入所者に対するサービスの質の向上に反映したい。 ・施設内で感染症が発生した場合、感染拡大防止の観点から、施設内ゾーニングを行った際、タブレットを使用することで、各エリアでの記録管理がスムーズに行える。		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 ・ベンダーによるシステム説明会、マニュアルによる使用方法の習熟。 ・記録入力業務の短縮。 <input type="radio"/> 2年目 ・記録入力業務の短縮。 ・正確かつスムーズな情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 ・直接介護業務の増加。		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 ・記録業務の負担軽減。 <input type="radio"/> 2年目 ・記録業務の負担軽減。 ・職員間の円滑な情報共有。 <input type="radio"/> 3年目 ・入所者に関わる時間の増加によるサービスの質の向上。		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	効果の検証方法としては現場職員に対して、 ①バイタルやケース記録の入力時間の短縮。 ②職員の業務負担の軽減。 ③タブレット導入に対する職員及び入所者の満足度等について聞き取り等で調査を行う。		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	特定非営利活動法人ドリーム・ポイント		
事業所名	短期入所生活介護施設ネスト・ステイ 【事業所番号：0671100485】	利用者数	55
介護サービスの種類	単独型ユニット型短期生活（Ⅰ）	職員数 (常勤換算)	20
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	NEXT CarePalette(Voice fun mobile)接続ライセンス使用権パック、iPad・赤外線体温計・血圧計2台。令和3年12月導入予定。		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	バイタル測定や記録業務の効率化が図れ、入力データを共有して確認できるため、紙ベースで個人ファイル管理していたものをデータ管理に移行していきたい。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 入所時のバイタル計測時間等の短縮 ○2年目 ケア記録のデジタル化 ○3年目 利用票や連絡帳を入力データより出力交付		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 業務の簡素化により時間と気持ちに余裕をもって対応できる ○2年目 記録の手書き等業務が省略され、時間外業務を減らせる ○3年目 情報の共有化が図れ、業務がスムーズになる		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	CarePalette等を使用することによる介護時間の短縮や負担の軽減効果、介護従事者と利用者の満足度等を業務日誌等に記録し状況・情報を共有する		
LIFEの利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	既存のほのぼのNEXTと連動しており、個人毎のケースファイル等を確認することなく情報を確認できる。ケアステーションでないと見守りしながら入力業務等ができる。		

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	グループホームふきのとう 【事業所番号：0671100444】	利用者数	18
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	14
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	【記入例】・介護ソフト名 一式購入 令和3年11月導入予定 ・ブルーオーシャンノート 一式 ・Wi-Fi ルーター 1台 令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	介護記録ソフトの導入により、記録に係る業務負担を軽減する。 また介護記録ソフトを利用して LIFE ヘデータ提供し、データの分析・フィードバックを活用しケアの質の向上へ繋げる。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 ・介護記録ソフトの自動転記やデータ連携機能を活用し、各種記録や書類作成・印刷、請求等に係る業務時間を30%程度削減する。 ・ペーパーレス化を進め、サービス提供記録、アセスメント等に関する記録等の書類の1月あたりの印刷枚数を30%程度削減する。 ・記録間の転記ミスや誤字脱字の削減、また介護記録ソフトと請求ソフト間データ連携により単純な請求ミスを30%程度削減する。 ○2年目 ・1年目の項目についてそれぞれ40%程度削減する。 ○3年目 ・1年目の項目についてそれぞれ50%程度削減する。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 ・業務効率化によって職員が直接ケアにあたれる時間が増えたり、介護記録ソフトやタブレットPCを用いて事業所内の職員間の情報伝達を円滑に行えるようになる。 ○2年目 ・LIFE へのデータ提供に介護記録ソフトのデータ連携を活用することでデータ入力業務が省力化され、科学的介護におけるデータの分析結果・フィードバックを積極的・継続的に活用してケアの質が向上する。 ○3年目 ・職員の業務負担が軽減されたことで、職員の離職防止や定着促進にも良い影響を与え、事業所の体制が安定する。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 ・介護従事者等のアンケートによる効果調査、時間外業務時間や請求業務時間の集計等による業務負担緩和の検証、再請求の件数集計による請求ミスの低減効果の検証など。
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	スマイル・ガーデンふきのとう 【事業所番号：0671100741】	利用者数	40
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護	職員数 (常勤換算)	23
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	【記入例】・介護ソフト名 一式購入 令和3年11月導入予定 ・ブルーオーシャンノート 一式 ・Wi-Fi 工事 一式 令和4年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	介護記録ソフトの導入により、記録に係る業務負担を軽減する。 また介護記録ソフトを利用して LIFE ヘデータ提供し、データの分析・フィードバックを活用しケアの質の向上へ繋げる。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目 ・介護記録ソフトの自動転記やデータ連携機能を活用し、各種記録や書類作成・印刷、請求等に係る業務時間を30%程度削減する。 ・ペーパーレス化を進め、サービス提供記録、アセスメント等に関する記録等の書類の1月あたりの印刷枚数を30%程度削減する。 ・記録間の転記ミスや誤字脱字の削減、また介護記録ソフトと請求ソフト間データ連携により単純な請求ミスを30%程度削減する。 ○2年目 ・1年目の項目についてそれぞれ40%程度削減する。 ○3年目 ・1年目の項目についてそれぞれ50%程度削減する。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 ・業務効率化によって職員が直接ケアにあたる時間が増えたり、介護記録ソフトやタブレットPCを用いて事業所内の職員間の情報伝達を円滑に行えるようになる。 ○2年目 ・LIFE へのデータ提供に介護記録ソフトのデータ連携を活用することでデータ入力業務が省力化され、科学的介護におけるデータの分析結果・フィードバックを積極的・継続的に活用してケアの質が向上する。 ○3年目 ・職員の業務負担が軽減されたことで、職員の離職防止や定着促進にも良い影響を与え、事業所の体制が安定する。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 ・介護従事者等のアンケートによる効果調査、時間外業務時間や請求業務時間の集計等による業務負担緩和の検証、再請求の件数集計による請求ミスの低減効果の検証など。
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
有(予定を含む)の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	スマイルコート清住 【事業所番号：0670103407】	利用者数	86
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護	職員数 (常勤換算)	38
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	<p>【記入例】・介護ソフト名 一式購入 令和3年11月導入予定</p> <p>・ブルーオーシャンノート 一式</p> <p>・Wi-Fi工事 一式</p> <p>令和4年1月導入予定</p>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<p>介護記録ソフトの導入により、記録に係る業務負担を軽減する。また介護記録ソフトを利用して LIFE ヘデータ提供し、データの分析・フィードバックを活用しケアの質の向上へ繋げる。</p>		
導入により達成すべき目標	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護記録ソフトの自動転記やデータ連携機能を活用し、各種記録や書類作成・印刷、請求等に係る業務時間を30%程度削減する。 ・ペーパーレス化を進め、サービス提供記録、アセスメント等に関する記録等の書類の1月あたりの印刷枚数を30%程度削減する。 ・記録間の転記ミスや誤字脱字の削減、また介護記録ソフトと請求ソフト間データ連携により単純な請求ミスを30%程度削減する。 <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目の項目についてそれぞれ40%程度削減する。 <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目の項目についてそれぞれ50%程度削減する。 		
導入により期待される効果等	<p>○導入後（翌年）1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率化によって職員が直接ケアにあたる時間が増えたり、介護記録ソフトやタブレットPCを用いて事業所内の職員間の情報伝達を円滑に行えるようになる。 <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LIFE へのデータ提供に介護記録ソフトのデータ連携を活用することでデータ入力業務が省力化され、科学的介護におけるデータの分析結果・フィードバックを積極的・継続的に活用してケアの質が向上する。 <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務負担が軽減されたことで、職員の離職防止や定着促進にも良い影響を与え、事業所の体制が安定する。 		

効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	例）介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 ・介護従事者等のアンケートによる効果調査、時間外業務時間や請求業務時間の集計等による業務負担緩和の検証、再請求の件数集計による請求ミスの低減効果の検証など。
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等	

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	一般財団法人山形市健康福祉医療事業団		
事業所名	介護老人保健施設サニーヒル山寺 【事業所番号：0650180037】	利用者数	100
介護サービスの種類	介護老人保健施設・短期入所療養介護	職員数 (常勤換算)	50.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	① ワイズマン IDC 老健管理・ケア記録・栄養ケアマネジメント・ 医師記録支援システム、すごろく Tablet 一式ライセンス購入 ② 無線 LAN 環境の整備に必要な機器及び設定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、紙ベースで記録をしいるため、転記の必要があり業務の効率化を検討している。 ・記録時間の削減。 ・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 システム、タブレットに慣れ、転記作業を削減。記録方法の見直し。 ○2年目 音声入力等活用し書類作成時間、書類・記録の省力化。 ○3年目 システムによる情報共有、多職種の連携強化促進。 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 記録時間と作業の削減。 ○2年目 間接業務削減による利用者対応の充実。 ○3年目 職員間の円滑な情報共有。 		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの習熟度や活用による具体的な効果について、職員へのアンケートにより調査する。 		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有 (予定を含む) の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	一般財団法人山形市健康福祉医療事業団		
事業所名	介護老人保健施設サニーヒル山寺 【事業所番号：0650180037】	利用者数	30
介護サービスの種類	通所リハビリテーション	職員数 (常勤換算)	18.2
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン IDC 老健管理・ケア記録・栄養ケアマネジメント・医師記録支援システム、すごろく Tablet 一式ライセンス購入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、紙ベースで記録をしいるため、転記の必要があり業務の効率化を検討している。 ・記録時間の削減。 ・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 システム、タブレットに慣れ、転記作業を削減。記録方法の見直し。 ○2年目 音声入力等活用し書類作成時間、書類・記録の省力化。 ○3年目 システムによる情報共有、多職種の連携強化促進。 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 記録時間と作業の削減。 ○2年目 間接業務削減による利用者対応の充実。 ○3年目 職員間の円滑な情報共有。 		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの習熟度や活用による具体的な効果について、職員へのアンケートにより調査する。 		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有 (予定を含む) の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	一般財団法人山形市健康福祉医療事業団		
事業所名	指定居宅介護支援事業所サニーヒル山寺 【事業所番号：0670100155】	利用者数	55
介護サービスの種類	居宅介護支援	職員数 (常勤換算)	3.2
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ワイズマン IDC 在宅ケアマネジメント支援システム、受託業務オプション、すごろくケアマネ 一式ライセンス購入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入 ・ リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、事務所でのみ入力を行っているため訪問先等での入力及びデータ閲覧ができるようにし業務の効率化を検討している。 ・訪問に要する時間の削減。 ・他事業所等との情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。 		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 タブレットに慣れ、転記作業及び訪問に要する時間を削減。 ○2年目 音声入力等活用し書類作成時間の省力化。 ○3年目 システムによる情報共有、多職種の連携強化促進。 		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○導入後（翌年）1年目 転記作業及び訪問に要する時間の削減。 ○2年目 間接業務削減による利用者対応の充実。 ○3年目 他事業所等との円滑な情報共有。 		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> ・システムの習熟度や活用による具体的な効果について、職員へのアンケートにより調査する。 		
LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無		
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
有（予定を含む）の場合は、具体的なデータ連携の内容、連携先、連携方法等			

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」（厚生労働省老健局振興課・平成28年度）を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。

2 補助事業計画書（ICT導入計画書）

事業者名	有限会社 モリヤオート		
事業所名	リハビリ訪問看護ステーションみどり 【事業所番号：0660790049】	利用者数	48
介護サービスの種類	訪問看護	職員数 (常勤換算)	12 (7.42)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・訪問看護業務支援システム「Net4U NURSE」一式 ・APPLE iPad タブレット5式 ※共に令和3年12月購入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
事業概要（意義・目的・現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	本ソフトを導入することで、看護記録とNet4Uとの連携が可能となり、今まで重複していた記録作成と報告書作成が一本化され業務の効率化とミスの削減、記録の充実が見込める。また、記録を統一しICT化することで円滑な情報共有が可能となり、より質の高い看護の提供が行えるようになり、業務の効率化からライフ・ワーク・バランスが充実し、職員のストレスの軽減につながる。また、職員教育に力を入れる時間の確保もでき職員の定着や新職員の獲得も見込める。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目： 月に1度社内研修を設け、全職員のICT移行に伴う技術・知識の習得を目指す。 ○2年目 職員一人一人が単独でICT媒体を用いて情報共有を行う事ができる。 ○3年目 ICT導入前後での作業効率の変化をデータ・数値化し比較する。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目 既存の重複した記録業務と情報伝達作業の削減及び簡略化による業務負担の軽減。 ○2年目 記録作業時間削減により他業務に充てる時間の確保が確保され、サービスの質が向上する。 ○3年目 業務効率が向上し身体的負担の軽減と共に、残業の削減へと繋がり職員の負担やストレスが軽減、働きやすい環境が整えられる。 そうして生まれる心身の余裕が、業務ミスの削減やサービスの質の向上となる。		
効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）	ICT化前後における日々の訪問業務時間(滞在時間)を比較し、記録作業削減の効果を確認。出勤簿の残業時間の推移より月単位で業務時間が削減されているかを確認。既存の業務として行っている年に1度の利用者への満足度アンケートを集計し、満足度の推移よりサービスの質の変化を確認。		

LIFE の利用申請の有無 ※該当する方に○を記入	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
データ連携の有無 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
有(予定を含む)の場合は、 具体的なデータ連携の内容、 連携先、連携方法等	訪問看護業務システム Net4U NURSE と「在宅主治医」「病院」「調剤薬局」「訪問看護ステーション」等との情報共有による利用者の情報データの連携が可能。又、請求業務に関しては導入システムから国保連に伝達するサービスソフトにファイル出力ができる為、国保連側とのデータ連携が可能。

※計画の作成に当たっては、「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン改訂版」(厚生労働省老健局・令和2年3月発行)や「居宅サービス事業所におけるICT機器・ソフトウェア導入に関する手引き Ver. 1.1」(厚生労働省老健局振興課・平成28年度)を参考に、導入による業務フローの見直し、導入を進めるための実施体制、職員への研修計画や技術的な支援体制の整備についても検討を行い、必要に応じて、計画に盛り込むことが望ましい。